

編集後記

《19生》

今回は総科掲示板を担当させていただきました。
色々と忙しかったため、し
手伝ってくれた2年生のみなさん、企画員の1年生のみなさん、どうう
そして「飛翔」に携わってきたこの2年半、多くのことを学びました。
本当にいい経験となりました。今までありがとうございました。

久保 奈津美

今回も飛翔に参加出来たことを嬉しく思いま。飛翔としました。
私は飛翔にとって大きな存在となれたのでしょうか。とにもかくにも、ありがとうございます。

中村 洋平

《20生》

今回初めて企画長を担当した世良です。自分が書く記事は少なたですがめこが
す！

世良 真一郎

今号でもOB・OG紹介を担当しました。今回の取材では色々と遠出をしたんですが、普段あんまり西条をでないのでドキドキしました。インタビューも面白い話を聞いたのでた
です。来号も楽しみです。

山崎

前回の副編集長から順調に出世(?)し、編集長になりました。
なにがしかのリーダーになったとき、リーダーはおとなしく全体を見つめるべきなのか、リーダー
自らがビシバシと働くべきなのか、「うーん……？」と考えることがあります。今回、前者でいよう
と思っていたのですが、ふたを開けてみればオリキャンの特集の総括をするわ、飛翔探険隊のメン
バーに、に、に、
とやっしまいました。おかげで、とても充実した務めをすることができました。編集委員の皆さん、
どうもありがとうございます

山谷 義貴

前号の編集後記ではマンガを読むのをやめて活字を読むという宣言をしましたが、残念ながら失敗
に終わりました。ただし、今号ではほとんど文を書かず、表紙や記事のレイアウトを作っていたの
で持ち前の文章力の低さは全くもって問題になりませんでした。飛翔での生活も2年目に突入し、
去年よ
後輩に教えきれなかった、伝えきれなかったことが沢山あり悔しく思います。皆さんお疲れ様でし
た！

吉田 聡

《21生》

研究室紹介を担当しました。雑誌編集に憧れていたもので、今回「飛翔」編集に携われて良い経験ができました。たった2ページの記事を書くのにもかなりの時間を要し、最後らへんは少し涙目でした。難しいなあ。そして辛かったです。みなさんの記事ですばらしい「飛翔」ができあがっていることでしょう。この度編集員になり、記事作成にあたってお世話になった先輩方、先生方、そして同輩のみんなに感謝いたします。うーん、月並な言葉しか思い浮かばない自分が悲しいです。

— 岩 永 明 華 —

みなさん飛翔作成お疲れ様です!! 私は探険隊の記事に関わらせてもらって、球場や新球場に取材に行きました。改めて広島県民の心に火がつかしました……! 楽しいばかりではなく、体力的にきつい時もありましたが、やってみて本当に良かったと思いました。といっても、20さんにほんの少しだけ上手くなれた気がします。支えてくださった方々、ありがとうございました!

— 梅 西 智 美 —

飛翔の編集員となったのは、全くの偶然でしたが、自分なりに楽しむことが出来たと思います。私は研究室紹介を担当しましたが、先生にインタビューをするのはとても新鮮でした。その後の原稿のまとめや校正は、苦痛でしかなかったですが、今思うと勉強になったので、やって良かったと思います。締め切りを

— 木 村 香 名 子 —

すこ 2人とも非常に楽しそうに、仕事のこと、学生時代のことなどを話してくださり、僕もこんな社会人になりたいと思いました。人に取材するのは初めての体験でしたが、楽しく出来ました。迷惑を掛けたりもしましたが、取材の後で、一緒においしいものを食べたOB・OG紹介担当のメンバーにも感謝です。

— 久 住 忠 彦 —

初めは何をするのかもよく分からないまま飛翔へ入りました。入ってみると少し忙しく、文章を書くのが苦手な私には大変でした。少しでも仕事は増えましたが、飛翔を自分達で作ったのだと考えると嬉しくなり、達増 けしま と りま し、とな と思います。今後、飛翔での経験を生かしていきたいです。ありがとうございました。

— 倉 岡 優 —

このたび飛翔の製作に関わらせていただいて、大学での雑誌製作の質の高さに、大変驚きました。もともと文章を書くことはあまり得意ではなく、インタビューをした先生の気持ちをうまく文章にできたかわかりませんが、自分なりに一生懸命書いたもので、是非読んでみてください! 飛翔の編集は大変でしたが、とても楽しかったです。

— 小 出 有 華 —

入学してすぐ、何がなんだかかわからないうちに僕は飛翔の編集委員になっていました。周りの友達の流れに乗って編集委員となったので、本音を言うと正直面倒でした（笑）。でも、考え方を変えてみると、自分の得意ではない分野に踏み込んでいけたということです。僕は作文だとかレポートだとか、文章を書くのがあまり得意ではありません。でも嫌いだからといって、逃げてばかりではなんの進歩もありませんよね。だから、飛翔の編集委員となるとは、幸せと
います。たぶん。。。
まあ、そんなこんなでありがとうございました。

— 佐藤 好 —

原稿を書いたりするのは初めてで貴重な体験をさせていただきました。拙い文章で申し訳ありません。記事からオリキャンの楽しかった思い出を少しでも思い浮かべてくださったら嬉しいです！
協

— 進藤 由佳子 —

私は今回、オリキャン特集を担当しました。といっても、私は自分の記事を書いたくらいで、レイアウトなどほとんどの仕事は山谷編集長がやってくださり、ありがとうございます！
他の記事を担当する方々がいると思いますが、この1冊は飛翔編集員全員の努力の証だと思うので、ぜひ隅から隅まで、じっくり読んでほしいです！

— 須田 香苗 —

私は今回、飛翔の編集委員として携わりましたが、次からは少しでも役に立つように頑張りたいと思います。そして、今回の飛翔が出来たの最後に、私は今回、掲示板を担当させていただきました。掲示板の仕事は楽しく、おもしろいものでした。また掲示板を担当したいなと思いました。

— 角 礼子 —

やっと終わったあーって感じですね。入学して、いつの間にか飛翔のメンバーになってしまいました。研究室紹介を担当させていただき、インタビューや記事編集をしました。私は手際がとても悪く下手でした。しかも、いつも締め切り間近で迷惑かけてばかりでした。でも、無事にできてよかったです。先生とお話させていただき、貴重な体験ができました。たくさんの方が読んでくれると嬉しいです。ありがとうございます。

— 徳丸 雄 —

本号からOB・OG紹介のコーナーは、広島グルメ紹介のコーナーへと変わりました。もちろん嘘です。でも、そう言っても過言ではない位、見ました、買いました、食べました（笑）。ある時は、某デパートで九州物産展へ、またある時は、巨大パフェをいただきました。これも立派な(?)仕事の一つだと思っています。しかし、この特集の担当で、出会いの大切さを改めて痛感したことは言うまでもありません。今までの出会いに感謝し、これからの出会いを楽しみにして、毎日を過ごしていきたいです。

— 林田 啓誉 —

今回「飛翔」としての取材は初体験でしたが、中学からの放送部での経験が役に立ったと思います。記事の編集やレイアウトで悩むこともあったけど、取材の前後にみんなで編集室に集まって無駄話も交えながら話し合いをしたり、物産展に立ち寄ったり、巨大パフェを食べてみたりして、すごく面白かったです。次の「飛翔」も楽しく頑張りたいと思います。

—— 平 野 詩 歩 ——

飛翔探検隊を担当したダンディーこと藤本です。今回は編集後記ということで一言。広島人でありながらMAZDA Zoom-Zoomスタジアム広島についてないのはどうかと思って、軽い気持ちで飛翔探検隊を担当しようと思ったのですが、ものすごくきつかったです。やっぱりこういうことはその場のノリで決めるものじゃありませんね。文才がないのに1500字くらいよろしくとか、簡単に言わないでください。とまあ、苦労して仕上げたわけですが、この号が皆さんの目に触れるようになるのは10月なんですよ。せっかく、マツダスタジアムの観戦ガイドを作ったのに来年のペナントレースが始まるころには忘れ去られているかわいそうな存在になっていることでしょうか。一言がずいぶん長くなってしまいましたね。苦労や反省はたくさんありますが、やりきったという気持ちで今はいっぱいです。このまま編集を は い ま 。 い を つ た と思っています。ありがとうございました。

—— 藤 本 周 策 ——

飛翔がどういうものなのか、どんな活動をしているのかなどあまりわからないまま編集委員になり、飛翔76号の制作に携わせていただきました。総科掲示板を担当しましたが、あまり力になれなくて申し訳なかったです。でも、良い経験となりました。ありがとうございました。

—— 別 府 優 里 ——

私は _____ は _____

また、それをレポートにまとめるのも簡単なことではありませんでしたが、自分のできるかぎり文章を作ってみて、記事の編集の難しさや厳しさを知ることができてよかったです。

—— 村 上 友 里 ——

今回、初めて飛翔の作成に携わることができ、たくさんの経験 ~~さ~~ て た き た 、 _____ に編集室に集まって話し合ったり、原稿を書いたり、先輩や友達にアンケートをとったりとなかなか大変でしたが、おかげ様で充実した毎日が送れたように思います。山谷編集長をはじめ、先輩方の働きぶりは本当にすごかったです!! 役に立てたかどうかは分かりませんが、私自身、飛翔編集委員になってよかったと思っています。今回の飛翔が、読んでくださった方々の心に響くものになれば嬉しいです。

—— 山 村 彩 ——

総合科学部に入ってまだ半年もたっていませんが、そろそろ学部の雰囲気にも慣れてきました。私は研究室紹介を _____ ン ビョ を _____ を _____ プして上手制 _____ は _____ 上 _____ し _____ は _____ 楽しく、やりがいのあるものでした。締め切りぎりぎりに原稿を提出することも多かったし、先輩方には大変お世話になりました。「飛翔」が冊子になるのが楽しみで仕方ありません。

—— 脇 川 花 緒 里 ——

《教員・事務の方々》

今年は、大勢の1年生が編集委員となり大活躍したようですね。数年前、わたしは教養ゼミの担当だったためオリキャンに参加したのですが、若い学生さんのパワーに圧倒されてしまい、ぜんぜんついていけませんでした。でも、先輩たちも含めて参加するみんな、行、なものであるということを改めて感じました。新球場には近々行く予定ですので、記事を参考にさせてもらいます。編集作業、お疲れ様でした。

— 青木 利夫 先生 —

編集会議に一度も出席できないまま（申し訳ありません……）校正稿を目にしました。今号の編集メンバーのなかには、僕の授業の受講生さんもいらしたようで。原稿を読むと、授業では見えないその方のきらりと光るセンスが垣間見え、新鮮でした。記事ではオリキャン特集を面白く読みました。意外に教員は、学生さんからみたオリキャンの姿を知らないもんなんですね。次号も学生目線を生かした記事を期待しています。皆さん、お疲れ様でした。

— 佐々木 宏 先生 —

今回初めて「飛翔」を拝見したのですが、取材、編集など、かなりしっかりされていて驚き した特にオリキャンの特集では学生の生の声が聞けて、職員として大変興味深く、ま オリキャンが学生生活をスタートするにおいて、いかに重要な役割を担っているかを再確認できました。これからも学生ならではの企画を期待しています。

今号では編集委員1年生によるオリキャンレポートの特集が良かったです。3年間オリキャンにも の り の らしいです。新球場にも是非行ってみたいくなりました。毎号話題が豊富で飛翔の完成を楽しみにしています。

— 岩佐 浩子 さん —

